

【特集】

高齢者保健の パラダイムシフト

本格的な高齢社会が到来したいま、高齢者の健康づくりは地域保健の最重要課題です。

しかし、高齢者を「サービスの利用者」とみなして事業を増やすばかりでは、十分な保健活動ができなくなるのもまた事実です。一方、定年退職を迎えてもなお活動的な高齢者が増え、これまでに培った力を地域で活かしたいという方も少なくありません。

そうした背景から、いま、新しい視点で「高齢者」を捉えなおそうとする動きが出てきています。保健師もまた、これからの高齢者にふさわしい保健活動へ向けて、発想の転換が必要なのではないでしょうか。本特集では、新しい「高齢者の捉え方」と、それにもとづいた地域での実践事例を紹介します。

